



笑顔はじける

団地 TOPICS

さまざまな団地で行われた
イベント活動をお知らせします。



力を合わせて緑あふれる団地に！
ガーデニング講座「お庭でクリスマス！」を開催

藤沢台第5（大阪府富田林市）



「緑あふれる団地にしよう！」を合言葉に、18年12月に始まった藤沢台第5団地の「みんなDEガーデンプロジェクト」。クリスマスが待ち遠しい12月14日、5回目となるガーデニング講座が開催されました。

2部構成の第1部は、クリスマスの寄せ植えづくりに挑戦しました。まず行うのは、モミの木のようなゴールドクレストや真っ赤なポインセチアなど4種類の植物選びです。土と肥料を入れて、選んだ花木にかわいい南天の実を添えると華やかな鉢の完成です。「クリスマスらしくしていいね」と道ゆく人からも思わず笑みがこぼれました。

休憩時間はモデルルームのリビングでティータイム。ドイツのクリスマス菓子・シュトレーンを食べながら、日々のお庭づくりや講座に関する思いを参加者で共有しました。第2部は、いよいよ植え替え実践講座です。秋のお花を抜いて土を耕してと、ガーデンコーディネーターの指導のもと、子どもたちも大活躍。最後に、植物の株元を覆って保護する「マルチング」という手法も学びました。

今秋以降には、写真で気軽に応募できる「ガーデニングコンテスト」を開催予定。ガーデニング部門・寄せ植え部門と分かれており、皆さんの作品が今から楽しみです。



1. 盛りだくさんのガーデニング講座でしたが、手際よくつくっていき皆さんの姿が印象的でした 2. クリスマスにぴったりの寄せ植えが完成！ 3. カラフルな食器でわいわい楽しいティータイム

生活支援アドバイザーがバックアップ！
植物とふれあい、人とつながる園芸イベント

中宮第3（大阪府枚方市）



1月25日、団地集会所で園芸イベントを開催しました。生活支援アドバイザーが主催する連続企画の初回は、「球根のテラリウム（ガラスの容器を使った寄せ植え）」に挑戦。春にきれいな花を咲かせるヒヤシンスとムスカリを2本ずつ寄せ植えしました。

四角いガラス容器の底に石を入れて寄せ植えスタートです。4本をバランスよく配置し、割りばしで水ゴケを入れて固定します。「紫、赤、オレンジ、ピンク…何色が咲くかはお楽しみに」と講師の山田倫子先生。村瀬佳美生活支援アドバイザーもテーブルをまわりながら、楽しいひとときを共有しました。

終了後には温かいお茶とお菓子をひと息つくティータイム。日頃のガーデニングについての疑問や悩みなど、ここぞとばかりに山田先生に相談されていました。この先、花壇への植え付けなどを予定。次回の申し込みを募ったところ、参加者のほぼ全員が続けての参加を希望され、「また次回もよろしくお願いします！」と笑顔での解散となりました。



1. 明るい先生の指導のもと、和やかな時間を共有しました 2. ガラスの花器に毛糸を巻いたら完成です 3. 「次回の講座も楽しみです！」と参加者の皆さん

住民と学生と一緒にエンジョイ！
第1回「コミュニティフェスタ」で多世代交流

奈良学園前・鶴舞団地（奈良市）



昨年11月、UR都市機構と帝塚山大学が地域コミュニティの形成と活性化を目指して連携協定を締結しました。2月15日、その取り組みの第1弾として、同大学現代生活学部の協力を得て「コミュニティフェスタ」を開催。9号棟団地集会所には卒業研究の展示会や体験コーナーが設けられ、60人以上が参加するにぎやかなイベントとなりました。

認知症予防のカードゲーム大会には幅広い年代が参加。持ち札に描かれた絵をヒントに自由な発想で進めていくユニークなルールに、各テーブルからは大きな笑い声が起こりました。年配の女性からは「学生さんと楽しめて面白かった！」と喜びの声が。一方、バター作り講座では生クリームを入れたペットボトルを約10分間シェイク。ようやく完成したお手製バターを、興味津々な面持ちで試食する親子連れのほほ笑ましい姿が見られました。

世代を超えて温かい交流が図られる様子里に「地元になじみ深い学生さんの知力と行動力をお借りして、団地を盛り立てることができれば」と話すのは自治会長の長谷川浩さん。今後も若い力に期待が高まります。



1. 学生と楽しみながら頭のエクササイズ。「次はどのカードを出そうかな？」 2. 居住空間デザイン学科の西川恵さんが考案した認知症対策カードゲーム「豊連想」のセット 3. 食物栄養学科の学生が、紙芝居を使ってバター作りを分かりやすく解説 4. バターができるまで、ペットボトルを一生懸命フリフリ！

Danching Photo

日常の一コマやオススメの風景、季節のイベントなど、団地暮らしの楽しさを表現した素敵な写真を募集します。

■応募方法
郵便番号・住所・氏名(必要ならペンネームも)・年齢・電話番号・お住まいの団地・写真を撮った(写っている)団地名・写真についてのコメントを記入して、パソコンやスマートフォンで応募ください。
※郵送でもご応募いただけます(7ページ下部のあて先へ)。
※応募された写真・写真データは返却しません
※掲載は次号以降以降になることがあります。

左記コードを撮影すれば
簡単アクセス

採用者に図書カード(500円)をプレゼント

生活支援アドバイザーを訪ねて

団地暮らしのパートナー

第2回 富雄(奈良市)
山田 千紗さん

SOSを出せない人に手が届くように

「困ったらまず相談します」と居住者の方に頼られる山田さん

毎週木曜日には、登録された方にあんしんコールを実施します(無料)

蛍光塗料で星が描かれる天ノ川小径が、山田さんのお気に入り

団地テナント

気になるお店

vol.19

おひさまルーム

光明台(大阪府和泉市)

頑張るママを応援したい！
ママも子どもも皆で笑顔に

赤ちゃん向けのベビーマッサージを中心に、ママ向けのさまざまな教室を開催しているおひさまルーム。和泉市内の別の場所で開院していたオーナーの岡本良枝さんが、今年1月に今の場所に移転されました。

子育てで悩む中で岡本さんが出会ったのが、ママと赤ちゃんの絆を強くするスキんシップ・ベビーマッサージです。自分と同じような境遇のママのために教室を開き、マッサージのやり方を教えながらさまざまな相談にのってききました。ベビーマッサージ以外にも、手形・足形アートや、工作を行う子どもアトリエ教室など、親子をつなぐ教室を多く主宰しています。

おひさまルームでは、岡本さん以外の講師も教室を開いています。身ぶり手ぶりでわが子とコミュニケーションするベビーサインや子連れヨガ、アロマのワークショップなどさまざまなテーマがあり、ママがのびのびの自分であられる場所として今後さらに期待が高まります。

1

2

3

SHOP DATA

大阪府和泉市光明台3-2光明台団地101-109(スーパーサンエー光明台店の隣)
 泉北高速鉄道「光明池」駅から南海バス10分「光明台センター」下車徒歩1分
 教室の開催時間はInstagramをチェック→@@ohisama0115

1親子ともにリラックスできるベビーマッサージは、ここ10年で急速に普及しました 2季節ごとに異なるテーマでつくる手形・足形アート。教室を卒業するときに振り返ると、わが子の大きな成長を感じます 3目印はこの看板。併設されるクレージュショップ「Crepe Stand」は子どもに安心・安全な素材しか使わない、行列のできる人気店

NEWS

コミュニティニュース

サイクルシェアがリニューアル！
気軽に借りられて、さらに便利に

「より快適な団地生活を」との思いから、自治会で貸し出しを行っているサイクルシェアの自転車を全台リニューアル。「子育て世代をバックアップできれば」とUR関係者が語るように、親子で乗れる子ども乗せ自転車や未就学児・小学生用自転車を含む計6台に入れ替えました。大人用の自転車はすべて電動式です。時間単位で気軽にレンタルすることができます。

12月8日、そのお披露目も兼ねて記念イベントを開催しました。午後2時から始まったBMXショーには、3人の関西トップライダーが登場。巧みなトリックの数々に、会場は大いに盛り上がりました。スリル満点のショーの後は子ども向けのBMX教室も実施。マンツーマンの丁寧なレッスンに「楽しかった！」と子どもたちも大満足でした。

また、この日は朝から災害訓練の一環として、コミュニティセンターで自治会主催の大根の炊き出しイベントも実施。大きなお鍋で炊いたホクホクの大根を食べて、体の芯から温まりました。「災害時に備えて日頃から横のつながりを大切にしたいですね」と自治会長の澁谷哲男さん。

住民とURが思いをひとつに、これからも快適な団地ライフをサポートしていきます。

富田（大阪府高槻市）



1初代日本チャンピオンも登場し、鮮やかなトリックショーを繰り広げました 2利用料金は5時間まで200円(子どもは2時間50円) 3災害訓練ではアルファ化米と畑で大切に育てた大根で災害食をつくりました

暴力団対策協議会を大阪地区で開催

2月5日、独立行政法人都市再生機構暴力団対策協議会の大阪地区総会をKKRホテル大阪(大阪市中央区)で開催しました。大阪府内のUR関係者と警察関係者が一堂に会して、暴力団追放3ない運動+1(「暴力団を利用しない」「暴力団を恐れない」「暴力団に金を出さない」+「暴力団と交際しない」)の重要性を確認しました。

まずは、大阪府警察組織犯罪対策本部副本部長が府内の最近の状況について「暴力団の抗争は激化している上、半グレの影響力も大きい」と報告し、続いて、(株)URコミュニティ千里、大阪(阪神)、泉北の各住まいセンター渉外役が活動状況を報告しました。最後に、協議会の決意表明として決議文を宣誓。大阪府警との連携により、安全・安心・快適な居住環境をつくることを誓い、閉会しました。

